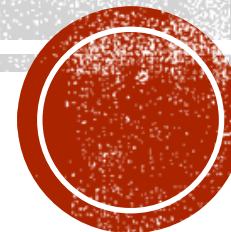


# 初期研修を振り返って

福島県立医科大学附属病院  
初期研修医 見城剛史



# 自己紹介

- 福島県いわき市出身
- 福島県立磐城高等学校卒業→浪人（仙台など）  
→ 北里大学医学部入学
- 整形外科医の父の仕事を見ていたり、  
運動部で自身もよく怪我をしていた経験から、  
学生時代より整形外科を志望していた
- 将来福島での勤務を希望していたこと、またプログラムの自由度が高く、  
様々な経験が積みそうと考え、福島県立医科大学附属病院で研修開始した



# 研修1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
循環器内科	小児科	産婦人科		救急科		麻酔科	整形外科	脳神経内科	消化器内科	総合内科	整形外科
医大	医大	医大		医大		医大	医大	医大	医大	医大	寿泉堂総合病院

- 循環器内科：電子カルテの操作に慣れず苦勞したが、基本的なカルテ記載の仕方などを学べた。  
虚血性心疾患や心不全の症例を経験した。
- 小児科：重症患者さんが多かった。Common diseaseをみる機会にはほぼなかった。  
小児採血やルート確保の機会があった。
- 産婦人科：自然分娩や帝王切開を多く見られた。子宮筋腫など婦人科疾患の手術にも数件入ることができた。



# 研修1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
循環器内科	小児科	産婦人科		救急科		麻酔科	整形外科	脳神経内科	消化器内科	総合内科	整形外科
医大	医大	医大		医大		医大	医大	医大	医大	医大	寿泉堂総合病院

- 救急科：研修医に任される業務も他科に比べて多く、病棟仕事にも慣れた。  
動脈採血やCV確保などの手技機会もあった。
- 麻酔科：気管挿管から麻酔管理まですべてさせてもらえ、大変だが勉強になった。



# 研修1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
循環器内科	小児科	産婦人科	救急科	救急科	救急科	麻酔科	整形外科	脳神経内科	消化器内科	総合内科	整形外科
医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	寿泉堂総合病院

- 脳神経内科：神経診察を身につけたかったので選択。腰椎穿刺などの手技機会も多くあった。
- 消化器内科：肝臓グループに所属。腹部エコーや腹腔穿刺を教えていただいた。
- 総合内科：診断能力をつけたかったので選択。大学病院や市中病院での初診外来を経験した。



# 研修1年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
循環器内科	小児科	産婦人科	救急科	救急科	救急科	麻酔科	整形外科	脳神経内科	消化器内科	総合内科	整形外科
医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	医大	寿泉堂総合病院

- 大学の整形外科：難しい症例を経験できたり、多くの先生方からの指導を受けられた。
- 市中の整形外科：転倒した高齢者の骨折などcommonな症例を多数経験した。  
人生初の執刀の機会も！（大腿骨転子部骨折の髓内釘や抜釘など）



# 研修2年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放射線科 医大	消化管外科 医大	小児科 竹田総合病院	リウマチ膠原病内科 福島赤十字病院	整形外科 福島赤十字病院	心身医療科 医大	地域医療 かしま病院	呼吸器外科 医大	糖尿病内分泌代謝内科 医大	整形外科 寿泉堂総合病院	整形外科 医大	

- 放射線科：CTやMRI画像の読影への苦手意識が強かったので選択。  
毎日4, 5例の読影レポートを作成し、画像読影に少し慣れた。
- 消化管外科：消化管疾患を見ていなかったため選択。閉創時の縫合も多く経験した。
- 小児科：発熱外来を主に担当し、上気道炎や胃腸炎などの症例を多数経験した。  
夜間のオンコール当番で喘息発作や熱性けいれんへの対応も学んだ。



# 研修2年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放射線科 医大	消化管外科 医大	小児科 竹田総合病院	リウマチ膠原病内科 福島赤十字病院	整形外科 福島赤十字病院	心身医療科 医大	地域医療 かしま病院	呼吸器外科 医大	糖尿病内分泌代謝内科 医大	整形外科 寿泉堂総合病院	整形外科 医大	

- ・リウマチ膠原病内科：整形外科に進むにあたり関節リウマチも経験したかった。  
関節リウマチの増悪や偽痛風など、急性関節痛の症例を多数経験できた。
- ・整形外科：赤十字病院は救急患者のファーストタッチも任せられると聞き選んだ。  
骨折患者の初期対応や整復法などを学べた。
- ・福島赤十字病院では二次輪番当直にも入ることができ、普段の当直とは全く違う忙しさを経験した。





# 研修2年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放射線科 医大	消化管外科 医大	小児科 竹田総合病院	リウマチ膠原病内科 福島赤十字病院	整形外科 福島赤十字病院	心身医療科 医大	地域医療 かしま病院	呼吸器外科 医大	糖尿病内分泌代謝内科 医大	整形外科 寿泉堂総合病院	整形外科 医大	整形外科 医大

- 心身医療科：せん妄への対応などを学べた。
- 地域医療：初診外来や救急外来、訪問診療や健診業務など多くの経験が積めた。
- 呼吸器外科：呼吸器系の診療科をローテートしていなかったので選択。胸腔ドレーンなどの手技も経験できた。
- 糖尿病内科：術前の血糖管理を勉強するために選択。インスリンの使い方など自分で方針を立てさせてもらえた。



# 研修2年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放射線科 医大	消化管外科 医大	小児科 竹田総合病院	リウマチ膠原病内科 福島赤十字病院	整形外科 福島赤十字病院	心身医療科 医大	地域医療 かしま病院	呼吸器外科 医大	糖尿病内分泌代謝内科 医大	整形外科 寿泉堂総合病院	整形外科 寿泉堂総合病院	整形外科 医大

終盤は整形外科を重点的に回ることにした。

市中病院では多少慣れた環境で研修したいと思い、1年目でも研修した寿泉堂病院へ。

4月からは医大病院の整形外科に勤務することが決まったので、最後はそのまま医大病院整形外科で研修！



# 大学病院の研修

- 上級医が多く、様々な指導が受けられる。
- 若手の医師も多く、話しやすい。
- プレゼンの機会が多く、症例をまとめる力がつく。
- 大学でしか経験できない症例も結構ある。



# 市中病院の研修

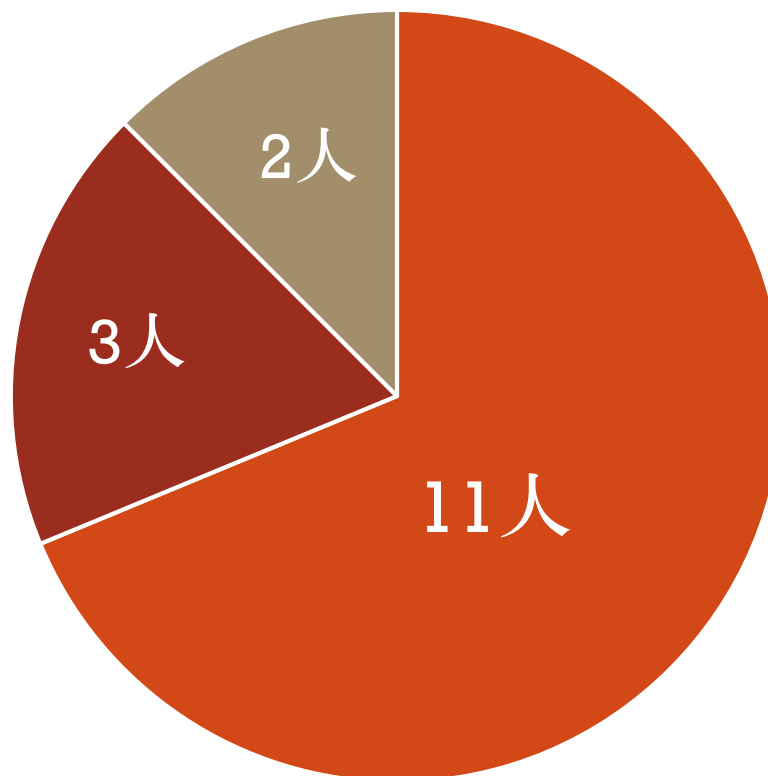
- common diseaseを多く経験できる。
- 在籍医師が少ないことが多く、任される仕事や手技機会が多い。
- 外科系なら執刀させてもらう機会もある。
- 二次輪番当直を経験できる。



同期の研修医に  
研修を振り返っての  
感想を聞いてみました！



# 研修プログラムの割合



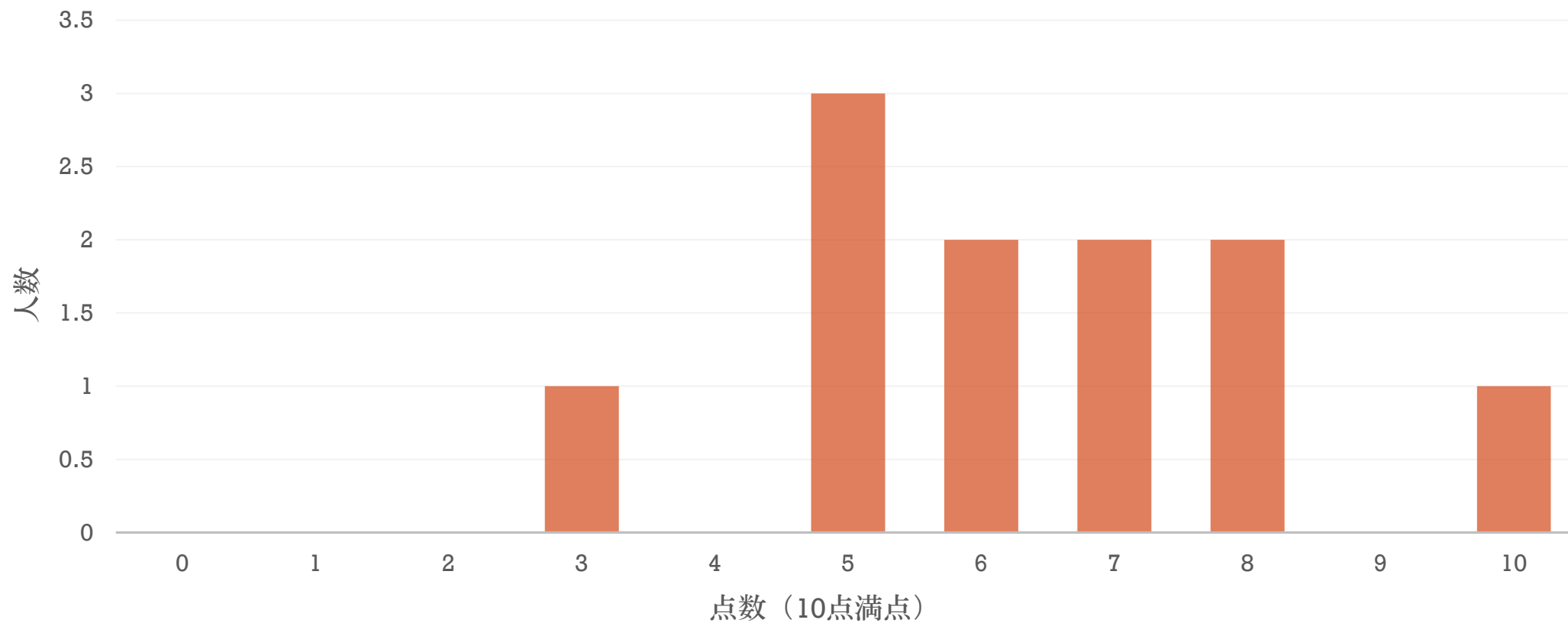
■ A: 2年間大学病院

■ B: 1年目大学病院、2年目市中病院

■ C: 1年目市中病院、2年目大学病院



# 研修満足度



# 改善してほしいところ

- commonな疾患を経験する機会は少ない（市中病院の研修で十分カバーできる！）
- 研修医が主体的に診療に関わる機会は少ない
- 手技機会は市中病院と比べて少ない
- スキルスラボをもう少し気軽に使えるようにしてほしい  
（もしくは一部機材だけでも10階に置けないでしょうか...別棟4階は遠すぎる...）
- お給料が市中病院と比べて安い
- 外病院から来た研修医には時間外手当が出るのに対し、自分たちが外に研修に行った際には基本給しか出ない
- 当直室のベッドが寝にくかった（改善していただきました！）





# よかったところ

- 初期研修終了後は引き続き医大で専門研修を行う予定であったため、早期から志望科の先生方と知り合えた
- たすきがけよりも多くの市中病院を経験できる（長崎大学や広島大学にも行ける）
- 稀な疾患や先進的な医療を経験できる
- 研修医室がある（ない病院もけっこうありました）
- 研修補助費や当直時の食事補助費を出してもらえる
- （診療科によるが）国内外の学会に行く機会がある
- 英論文を読み込んで発表する機会があり、論文や発表の型、臨床試験の方法などがある程度身についた



# 終わりに

福島県立医科大学附属病院および関連病院で  
ご指導いただいた先生方やスタッフの皆様、  
ならびに2年間支えていただいた  
臨床医学教育研修センターの皆様  
心より感謝申し上げます。

